



九州大学が国連アカデミック・インパクトに参加 ～「ソーシャル・ビジネス」の教育・研究・普及を通じ地球規模の問題解決へ～

概要

九州大学は、「国連アカデミック・インパクト (United Nations Academic Impact/UNAI)」に参加することになり、潘基文 (パン・ギムン) 国連事務総長の来日に際して8月4日 (水) に開催された UNAI の日本における第1回目の会合に出席しました。

UNAI は、国連と教育機関を結びつけることを目的として潘国連事務総長が提唱したもので、「参加する大学には「人権、識字能力、持続可能性、紛争解決」の分野における普遍的な10原則について積極的にサポートする活動が求められます。

今回、九州大学ではアカデミック・インパクトが掲げる10原則 (下記参照) のうち、特に原則8「貧困問題」への取り組みとして、グラミン銀行総裁・創設者のムハマド・ユヌス博士が提唱する「ソーシャル・ビジネス」の教育・研究、普及のため、学内に「グラミン・クリエイティブ・ラボ(GCL) @九州大学」を設置し、海外の大学の GCL と連携を行うこと。また、ユヌス・センターおよび日本企業と共に、「グラミン・テクノロジー・ラボ(GTL)」を設立し、開発途上国向けの技術・ノウハウおよび製品の開発を推進することを発表しました。

2010年11月18日 (木)、19日 (金) には、ニューヨークの国連本部において、アカデミック・インパクト発足式をはじめとするイベントが開催される予定です。

これからも九州大学はアカデミック・インパクトを通じて、地球規模の問題解決に積極的に取り組みます。

■ 国連アカデミック・インパクト (UNAI) について

アカデミック・インパクト (Academic Impact/AI) は、国連と高等教育機関を結びつけるグローバルな取り組みであり、2009年より本格化しています。国連は、アカデミック・インパクトにおいて「人権、識字能力、持続可能性、紛争解決」の分野における普遍的な10原則 (下記参照) を定めています。全ての参加大学は、毎年少なくとも1つの原則を積極的にサポートする活動が求められます。

高等教育が経済・社会的発展において重要な役割を果たし、世界平和の基盤を担っていることは広く認識されています。ついては、世界の学術機関におけるリーダーの皆様、決議と行動を求めたいと思います。アカデミック・インパクトに参加した機関は、教育を通して地球規模の課題に取り組むことをコミットすることが期待されます。

10原則

- ・ 原則1: 国連憲章の原則を推進し、実現する
- ・ 原則2: 探求、意見、演説の自由を認める
- ・ 原則3: 性別、人権、宗教、民族を問わず、全ての人に教育の機会を提供する
- ・ 原則4: 高等教育に必要とされるスキル、知識を習得する機会を全ての人に提供する
- ・ 原則5: 世界各国の高等教育制度において、能力を育成する
- ・ 原則6: 人々の国際市民としての意識を高める
- ・ 原則7: 平和、紛争解決を促す
- ・ 原則8: 貧困問題に取り組む
- ・ 原則9: 持続可能性を推進する
- ・ 原則10: 異文化間の対話や相互理解を促進し、不寛容を取り除く

- 日本の参加大学（2010年8月現在/参加順）
九州大学、明治大学、早稲田大学、中央大学、大阪商業大学

- 参加メリット

- ・ 国際的ネットワークの一部となり、共通の課題解決に向け、相互に専門知識、設備、研究を補完し合い、より効率的に最善のソリューションを目指すことが可能になる。
- ・ 国連と共に世界規模の問題に取り組む学術機関として、参加機関名と最高責任者が公に表されることにより、学術機関がより国際的認知を得る可能性が広がる。
- ・ 国連という国際的なフォーラムにおいて国際社会の発展に貢献する研究・開発を発表、遂行することにより、そこに参加する若い学生に効果的なモチベーションを与えることができる。
- ・ 研究・開発において、国連機関の幅広い知識と経験へのアクセスが容易になる。

- 今後の展開

今後、アカデミック・インパクト発足を記念し参加団体、およびパートナー団体によるプロジェクト発表の場を設けることが検討されており、2010年11月18日（木）、19日（金）の二日にわたってニューヨークの国連本部において、アカデミック・インパクト AI 発足式をはじめとするイベントが開催される予定です。

- 関連情報

九州大学が取り組んでいる「ソーシャル・ビジネス」に関連し、「グラミン・ワークショップ」が下記により開催されます。

日時：2010年9月17日（金） 09：30～17：30

場所：九州大学箱崎キャンパス 旧工学部本館3階会議室

関連 URL: <http://imaq.kyushu-u.ac.jp/~gcl/japanese/index.html>
(グラミン・クリエイティブ・ラボ@九州大学 ホームページ)

- アカデミック・インパクト関連 URL

アカデミック・インパクト 日本サイト：<http://www.unic.or.jp/ai/>

アカデミック・インパクト グローバルサイト：<http://academicimpact.org>

国連広報センター(UNIC)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 UNハウス8F

Tel：03-5467-4451/FAX：03-5467-4455

E-mail: unic.tokyo@unic.org

【お問い合わせ】

(報道担当)

九州大学広報室

Tel：092-642-2106

FAX：092-642-2113

E-mail: koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

グラミン・クリエイティブ・ラボ@九州大学

(九州大学知的財産本部内)

Tel:092-642-7031

<http://imaq.kyushu-u.ac.jp/~gcl/japanese/index.html>